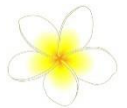




ມາຈາກແຄມຂອງ~メコン川のほとりから~ 第4号



サバイディー！現在、青年海外協力隊としてラオスで活動中の本校教諭のコウラです。

○●『ラオ語』（ラオス語、ラーオ語ともいう）ってどんな言語？●○

ラオ語はラオスの公用語であり、主な使用地域はラオスと東北タイの一部です。クメール語 (ភាសាខ្មែរ)・タイ語 (ภาษาไทย)・ラオ語 (ພາສາລາວ) の【文字】は同系統に分類されており、

さらにタイ語・ラオ語は【言語系統】としてもよく似ています。「文字がどうやってできたか」というのは「文化がどのように伝わったか」に大きく関係しているそうです。

私はラオ語を勉強する前に「タイ語とよく似ているのかな」と思いましたが、実際には文字はかなり違いました。ただ文法や単語などはよく似ています。ラオス人は「日本語には漢字があるから、中国語とよく似ているよね」と言いますが、日本人は通常中国語は読めないですよ…よく知らない人から見れば似ている文字・言語でも、実際に知ってみるとどのように違うのかがわかるものなんですね。【文字】【言語】に興味がある人は、どんな大学・学部で学べるのか調べてみてもいいかもしれません！

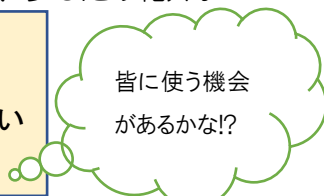
さて、今回・次号では「かわいい文字」としてちょっと有名な「ラオ語」を紹介します！文字の構造は日本語よりも英語に近く、母音と子音を組み合わせる1つの音を作ります。例えば「ສ」は「s」で、「ະ」が「a」なので「ສະ」と書いて「sa=サ」と読みます。ちょっとなじみがないのは長母音で、「າ」は「aa=アー」なので「ສາ」と書いて「サー」と読みます。

それから日本語・英語ともになじみがなく、中国語が一番身近かなと思うのですが「声調」という音の高低・上がり下がりを表す記号がつけられています。「ຂາ」と書けば足を意味しますが、「ຂ້າ」と書けば殺すという意味になってしまいます。発音の違いは、日本語の「箸」と「橋」のようなイメージです。さらにラオ語には、アルファベットの「k」にあたる文字が3つ「ກ」「ຂ」「ຄ」あるのですが、音の高さと無気音・有気音（強い息を出して発声するかどうか）の違いがあり、その3つは全部違う発音になるのです…。文章で見ると、とんでもなく複雑で難しそうに聞こえますね～(;"▽") でも、同じ視点で日本語を見てみると、日本語の方がはるかに複雑です。そしてラオ語は語彙数があまり多くなく、文法も単純なので、他の言語に比べるとそこまで難しくなような気がしています。

 ກ koo-kay	 ຂ khee-khaje	 ຄ koo-khoo	 ງ gou-gou	 ຈ choe-choek	 ສ soe-seah	 ຊ soe-sang	 ຍ gou-goung	 ດ doo-dek
 ຕ toe-ta	 ຖ thoe-thong	 ທ thoe-thoung	 ນ noe-nock	 ບ boe-bè	 ປ poe-pa	 ຜ phoe-phoung	 ຝ foe-foah	 ພ pphoe-phou
 ຟ fho-fye	 ມ moo-moo	 ຍ yoe-yas	 ຣ roe-roch	 ລ loe-ling	 ວ voe-vo	 ຫ koo-khau	 ອ oeh	 ຮ khee-houh

上で書いたように、ラオ語は日本語のカタカナでは表せないのですが、少しだけ紹介♪

こんにちは(全時間帯)…ສະບາຍດີ…サバーイディー
 ありがとうございます…ຂອບໃຈຫລາຍໆ…コープチャイ ライラーイ
 すみません・ごめんなさい…ຂໍໂທດ…コートー(ト) 最後の「ト」は聞こえない
 がんばる…ພະຍາຍາມ…パニヤニヤーン(ム)



拡大版

=インタビューコーナー=

今回は貴重なインタビューを聞くことができたので、スペースを拡大してお届けします！
最後に井上さんの「ラオスでのお気に入りの写真」も見せてもらいました。

井上ゆり絵さん プロフィール

2015年3月 大阪大学法学部国際公共政策学科 卒業

2015年4月 外務省入省

2016年8月より 在ラオス日本国大使館所属(外交官補)



Q.ラオスに来ることになった経緯と、ラオスでの仕事内容を教えてください。

外務省では、内定の際にそれぞれに専門言語が割り当てられ、日本での1年間の勤務の後、世界各国に赴任して2年間現地の大学に通い語学を習得し、その後大使館で勤務します。私は現在、首都にある「ラオス国立大学」でラオス語と法律・政治・国際関係を勉強しています。この2年間では、ラオスの専門家となるべく、通訳レベルの語学力をつけるだけでなく、ラオスの政治や経済、社会全般の知識を習得するため、小浦先生のようにラオスの地方で活躍する JICA 専門家や青年海外協力隊の方々にも積極的に会い話を伺っています。

Q.ラオスで勤務・生活している中で、一番大切にしていることはなんですか。

仕事に関する知識だけでなく、ラオスやラオス人の心を理解するために、伝統舞踊を習ったり、地方へ出かけて村の生活を体験したりしています。仕事でもプライベートでも、信頼関係や人脈がすごく大切になるので、オープンマインドでいるようにしています。

Q.語学力向上のためのポイントがあれば教えてください。

1年後、大使館勤務に就くと大使や日本から来る要人の通訳をしなければいけないので、今必死に勉強しています。語学は日々の地道な努力が必要ですが、机上の勉強だけでなく、「実践」を大切にしています。おしゃべり好きの人が多いラオスでは、屋台のおばちゃんからラオス語を学ぶことも多いです。

Q.外務省や海外勤務に興味がある中高生へのメッセージをお願いします！

是非若いうちから世界に飛び出し、「本物」に触れ、心を揺さぶられる経験をして、自分らしく働ける仕事を見つけてほしいと思います！外交官は個性と特性を存分に活かせる職業なので、選択肢のひとつとして考えてもらえると嬉しいです。



旧暦12月の満月の日に
行われるタートルアン祭



古都ルアンパバーンでの
托鉢の様子



田舎の美しい風景

「外交官ってどうやってなるんだろう？」 そう思った人は、ぜひ調べてみてください。次号へつづく！